

公共図書館 展示

ブックケア

= 未来へつながる保存の技術 =

本の治し方が知りたい！ 本を長く大切にするにはどうすればいいの？…皆様の熱い想いにお応えするため、保存の真髄を伝える展示も今年で6年目を迎えました。

保存の技術として、修理の基本知識や技術、材料・道具について、解説パネルと実物の道具類や修理後の本を展示してご紹介しました。

体験コーナーでは、本の仕組みを理解するための綴じの方法と、和紙と糊を使った修理を体験するワークショップを開き、大勢の方が参加してくださいました。



【パネル展示】

<保存の技術> (知っておきたい基本)

●修理の基本と材料

①修理の基本

- ・何度でもやり直せること
- ・安全な材料を使う
- ・柔らかく軽く仕上げる

②基本的な材料

和紙(楮)(極薄・薄・中厚・厚4種類)、でんぷん糊、混合糊(でんぷん糊2:白ボンド1)、白ボンド、麻糸

●本の修理の道具

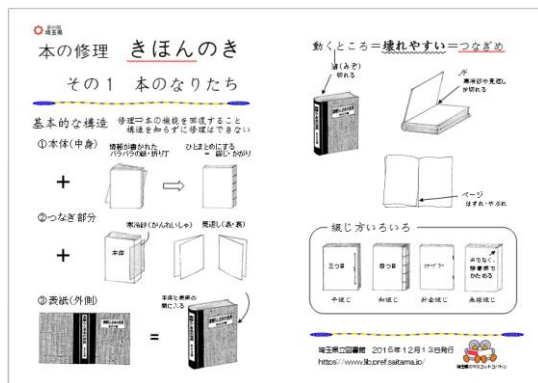
筆(こしのある平筆)、カッターナイフ、定規(金型30cm)、目打ち、製本針、締め板、

重し(5kg、漬物石等)、樫矢(目打叩き棒)

<治す技術> (修理の基本の技術)

●『本の修理 きほんのき』その1~10

本を長く利用するために気をつけたいこと、修理に最低限必要な道具や材料、知っておきたい基本的な修理方法を、ちょっとしたコツやヒントをまじえてご紹介し、印刷物としても配布しました。



その1 本のなりたち

修理は本を知ることから～本の基本的な構造を解説。

その2 とりあつかい

長く大切に使うには本が苦手なことを知ること～保存環境・取り扱い方を解説。

その3 道具のこと

身近な物が使えます～修理に必要な道具を解説。

その4 材料のこと

修理は化学的に安定した材料を使いましょう～基本の材料や配合について解説。

その5 やぶれをなおす

ページやぶれ、本のノドのやぶれを修理する方法を解説。

その6 かたちをなおす

水濡れ本、しわになったページ、ノドの緩みを元に戻す、簡単な方法を解説。

その7 ページがとれたら

ページがとれた時の修理を解説。修理の様々な場面で役立ちます。

その8 ページがとれたら2

その7の応用編。

【その9】 表紙がはずれたら

片側のノドが切れて表紙がはずれる～重症化した時の修理方法。

【その10】 ステップアップ

修理についてさらに知りたい時の情報源を紹介。

※『きほんのき』を御入用の方は埼玉県立久喜図書館までご相談ください。

<本のケア> (日頃できるケアを紹介)

●正しい取り扱い方

①正しい本の取り出し方

<ポイント> 背に指をひっかかない!

- i 両サイドの本の背を軽く押す。
- ii 目的の本の真ん中を持ち、取り出す。

②ドライクリーニング

<ポイント> 水分を使わずに、刷毛やクロスで本をきれいにします。

- i 片手でしっかり持つ。
- ii 小口を刷毛ではらう。
きたない方→汚い方の順。
- iii 見返しのノドを刷毛ではらう。
- iv 全体を布で拭く (化学雑巾は不可)。

●効果的な手当て

①ページの折れ・シワの手当て

<ポイント> ごく少量の水気をあたえてから重しをのせて乾燥させることで、ページを平らに戻します。ただし、弱った紙や写真集などの塗工紙にはできません。

- i 折れ・シワを取りたいページの下に白紙などの吸水紙を挟む。
- ii 水で濡らして固く絞った布巾で水気をあたえ、折れやシワを伸ばす。
- iii 新しい白紙を上下面に挟み、本を締め板で挟み重しをのせて乾燥させる。

②水濡れ (雨&水) の手当て

<ポイント> 水濡れの手当てはスピード勝負。白紙などの吸水紙を挟み水分を取ることで、

元の状態に近づけます。

- i 1ページごとに白紙を挟み水気を取る。
- ii 水を吸ったら白紙を取り換える。
- iii さわってもほとんど湿り気を感じなくなってから、本を締め板で挟み、重しをのせて乾燥させる。

【体験コーナー】

<糸と針で綴じ体験>

●平綴じ (平綴じ) ★★★ ★: 難易度

重ねた紙のノドに四つ穴をあけて麻糸で綴じする方法。無線綴じの本が壊れた時に使う方法です。

●リンク・ステッチ ★★★★★

折丁の背を一本の糸でかがる方法。ちょっと難しいですが、かがりの糸が切れて折丁がとれてしまった時、この方法を知っていれば修理することができます。

●無線綴じ ★

重ねた紙の背を接着剤でかためるだけのカンタンメモ帳。壊れやすい本に多くみられる綴じ方です。

<はじめての和紙と糊>

●和紙と糊で破れを治す

和紙と糊の修理は、やり直すことができ、柔らかく軽く仕上がるため、保存のための補修技術の基本中の基本です。



今年もワークショップは大盛況! 興味津々の皆様に修理の始めの一步を体験していただきました。また来年、パワーアップして臨みますので、次回もお楽しみに!